

事業所における自己評価結果 (公表)

公表：令和 6年 10月 15日

事業所名 ぶらいと

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10			日々の利用人数が適正に保たれるよう、細かくスケジュールの調整をしていきます
	②	職員の配置数は適切である	10			
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	9	1	・段差部分にスロープがついている ・絵カードによる視覚支援もしている ・扉の開閉時に手指をはさまないように注意している	構造化を図り、一人ひとりに合わせた環境づくりを心がけます
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	10			
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	10		・口頭での振り返りと、児童一人ひとりに対するの申し送りがある	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	1	・可能な限り改善できるようにしているが、難しい場合もある	調査結果を活かし、周知し、改善につなげていきます
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9	1		自己評価は年1回実施し、HPに掲載しております、結果を活かし、新規スタッフにも周知していきます
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	7		外部評価は行っていないので、機会があれば行っていきます その旨を周知していきます
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	10		・案内がでると動画等で確認している ・支援に影響がないよう動画研修を進めている	業務の都合上、受講機会が得られないこともあるため、全員が受けられるよう配置を考えていきます
適切な 支援の 提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	10		・利用開始時と半年に一度のモニタリング、またはその都度振り返りの内容を反映させて作成している	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9	1	児童調査シートを活用している	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	10			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	10		職員会議で周知して行っている	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	9	1	都度話し合いを行っている	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9	1		
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している	10		個別と集団を組み合わせている	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9	1	特に運動プログラムは進め方や役割分担を決めている	前回の様子を振り返りながら役割分担の確認ができています
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9	1	気付いたことや、変化について共有している	直後の口頭での振り返りに加え、記録や申し送りを活用して振り返りを徹底しています
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10		毎回のプログラム内容などを記入するシートがある	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	10		最低6か月に一度、必要があればその都度行っている	
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	2	8	担当者会議がない	サービス担当者会議がないので、今後そのような機会があれば積極的に参画します
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8	2	保護者を通じて行っている	保護者を通じて行うほか、状況に応じて情報提供したり連携して支援していきます
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8	2	保護者を通じて行ったり、場合によっては保育所等訪問支援を行っている	適宜連絡を取って情報共有に努めたいと思います
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8	2	保護者を通じて行ったり、場合によっては保育所等訪問支援を行っている	適宜連絡を取って情報共有に努めたいと思います
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	5	保護者を通じて助言を受けることがある	そのような機会が少ない(見学会には参加している)が、今後機会があれば参加し連携していきます

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	⑳	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、 障害のない子どもと活動する機会がある	2	8		
	㉑	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の 子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	8	担当者ややりとり し、イベントなどの 連絡をもらっている	スタッフ全員が参加できることは少ないが、地 域のこどもイベントへ参加要請を済ませた
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理解を 持っている	10		都度フィードバック を行い、それ以外 にも気になる事な あどがあれば面 談を行っている	
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護 者に対して家族支援プログラム（ペアレント・ トレーニング等）の支援を行っている	2	8		個別対応しているが、どの職 員も保護者に助 言等できるように整えていきたい
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	㉔	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明 を行っている	10			
	㉕	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の 提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、 これに基づき作成された「児童発達支援計画」 を示しながら支援内容の説明を行い、保護者 から児童発達支援計画の同意を得ている	10			
	㉖	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対 する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を 行っている	10		都度フィードバックを 行い、それ以外にも 気になる事なあどが あれば面談を行って いる	
	㉗	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を 開催する等により、保護者同士の連携を支援 している	6	4	未実施だが行いたい と考えている	
	㉘	子どもや保護者からの相談や申入れについて、 対応の体制を整備するとともに、子どもや保護 者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速 かつ適切に対応している	10		指摘があった場合に は、すぐに職員間で 周知し、速やかに対 応している	
	㉙	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に 対して発信している	9	1	定期的にはない が行事内容などを 記載したフライ ヤーを配布した り、HPやSNSで発 信している	現在、不定期発行の「ぶらいと便り」をさらに充 実させ定期発行していけたらよいと考えていま す
	㉚	個人情報の取扱いに十分注意している	10			
	㉛	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や 情報伝達のための配慮をしている	10			
	㉜	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に 開かれた事業運営を図っている	8	2	不定期だが事業 所を解放してのイ ベントなどを行っ ている	年に一度は参加自由なイベントを行っている。 また、地域のふれあいイベントの手伝いに参加 する予定があります
非 常 時	㉝	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症 対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に 周知するとともに、発生を想定した訓練を実施 している	7	3	職員間でマニ ュアルを周知して はいるが、保護 者への周知が まだ行われてい ない	保護者様に周知できるよう工夫していきます

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
等 の 対 応	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出 その他必要な訓練を行っている	8	2	年に一度、職員 間での避難訓 練を行っている	年次計画に盛り込み、確実に出来るようにする
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の こどもの状況を確認している	9	1	児童調査シート 等を活用し、確 認している	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の 指示書に基づく対応がされている	9	1	アレルギーの有無 は確認している が、食事提供は無 い	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有 している	7	3		作成しているが事例が少ないので、時折、振り 返りして共有できるよう心がけます
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保 する等、適切な対応をしている	9	1	研修の機会は 確保できていな いがマニュアル はある	マニュアルを、再度、職員間で共有したい
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うか について、組織的に決定し、子どもや保護者に 事前に十分に説明し了解を得た上で、児童 発達支援計画に記載している	9	1	お預かりではなく 保護者がいるた め、そのような場 面はないが、特性 により危険な状況 になり得るような 場合は事前に了解 を得る	基本的には対象児童はいません

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

事業所における自己評価結果 (公表)

公表:令和 6年 10月 15日

事業所名 ぶらいと

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8	2		運動スペースが十分な広さではないため遊具の配置等で工夫している	児童によって、スペースを区切って分けて使用したり、今後も工夫していきます
	②	職員の配置数は適切である	9	1			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7	2	1	段差部分にスロープがついている	
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	9	1		口頭での振り返りと、児童一人ひとりに対するの申し送りがある	必用であればその都度振り返りを行えるような環境を目指します
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	1		可能な限り改善できるようにしているが、難しい場合もある	このアンケートを基に、毎シーズン話し合いながら改善に努めます
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	10				
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		2	8		
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	2		・案内がでると動画等で確認している ・支援に影響がないよう動画研修を進めている	業務に影響のない範囲で外部の研修にも参加していきたい
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	10			利用開始時と半年に一度のモニタリング、またはその都度振り返りの内容を反映させて作成している	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	2		児童調査シートを活用している	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	9	1		都度話し合いを行っている	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10				
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している		9	1	個別療育なので時期での変更はないが、休日・長期休暇などにイベントを用意している	季節の課題なども個別に設定して実施しています
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	10			個別と集団を組み合わせている	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	8	2		特に運動プログラムは進め方や役割分担を決めている	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9	1		気付いたことや、変化について共有している	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10			毎回のプログラム内容などを記入するシートがある	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等 デイサービス計画の見直しの必要性を判断 している	10			最低6か月に一度、 必要があればその都 度行っている	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合 わせて支援を行っている	8	2			
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最も ふさわしい者が参画している		2	8	担当者会議がない	今後そのような機会があれば積 極的に参画します
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定 等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、 連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の 連絡）を適切に行っている	8	2		保護者を通して行っ ている	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合 は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている					
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、 認定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている		8	2	必用であれば保護者 を通して行っている	適宜連絡を取って情報共有に努 めたいと思います
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所 から障害福祉サービス事業所等へ移行する 場合、それまでの支援内容等の情報を提供 する等している	7	2	1	保護者を通して行っ たり、場合によっては 保育所等訪問支援を 行っている	状況に応じて情報提供してい きたい
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	6	3	1		そのような機会が少ない(見学 会には参加している)が、今後 機会があれば参加し連携してい きます
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害 のない子どもと活動する機会がある		1	9	地域の子どもたちに 開放するイベントも 行っている	日頃は個別支援のため難しい が、開放イベントを計画したい 外部イベントの手伝いに参加す る予定はある
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に 参加している		3	7		管理者のみ参加している
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理解 を持っている	10			都度、しっかりと フィードバックを行っ ている	
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、 保護者に対してペアレント・トレーニング等の 支援を行っている		5	5	未実施だが行いたい と考えている	現状未実施だが、今後計画して いきたいと考えている
	保	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等 について丁寧な説明を行っている	10			
㉑		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に 適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10				
㉒		父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を支援 している		3	7	イベント時などに交流 できることがある	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
護者への説明責任等	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	10			指摘があった場合には、すぐに職員間で周知し、速やかに対応している	
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	6	1	定期的にはないが行事内容などを記載したフライヤーを配布したり、HPやSNSで発信している	現状では不定期に発行する「ぶらいと便り」があるが、発行本数を増やしたいと考えている
	③⑤	個人情報に十分注意している	10				
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10				
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	4	2	不定期だが事業所を解放してのイベントなどを行っている	年に一度は参加自由なイベントを行っている。また、地域のふれあいイベントの手伝いに参加する予定はある
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	3	2	職員間でマニュアルを周知しているが、保護者への周知がまだ行われていない	保護者様に周知できるよう工夫していきます
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	2	1	年に一度、職員間での避難訓練を行っている	
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	3	1	研修の機会は確保できていないがマニュアルはある	
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7	3		お預かりではなく保護者がいるため、そのような場面はないが、特性により危険な状況になり得るような場合は事前に了解を得る	対象児童がおりません
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5		5	食事提供はないが、アレルギーの有無の確認はしている	
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	3			作成しております。事例が多くはないので、時折、振り返りして共有します

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。